

# ごとう通信

第 222 号

令和元年 6 月 1 日

いやいや、今年は猛暑らしいですね。それを十分予感させる5月の陽気。さすがにびっくりしました。この時期からエアコンが活動するとは。何がどうなっかってこういう暑さになっているのかわかりませんが、体調はすっかり整えていきましよう。

先月は出張で佐賀と山口を訪れる機会がありました。

向こうの方たちは「大都会新宿はすばらしい。うちなんて田舎で…」とおっしゃるのですが、ビルは少なく、広々とした土地で緑が多



く、心も落ち着く感じ。料理も酒もうまいし。都会生活がいかにせかせかしているのかが身に沁みました。

おそらく、地元の方は自分たちの環境を客観的に見ることは難しいと思いますが、こういう環境を求めている都会の人は多いのではないかと思います。今でも「ターンとか」「ターンとか言っていますが、何かの機会に一齐に地方分散の流れが始まるでしょうね。同じ場所に出勤するために毎日満員電車に乗る…なんてきつと時代遅れになるでしょう。

僕たちの世代は大阪万博でテレビ電話のようなものが展示され、夢のようだと思っていました。今の若い世代にとっては当たり前。しかも携帯電話で実現しています。同じ建物にいないと仕事できないなんて時

代ではありません。世の中はどんどん変わっていきます。これから働き方も変われば生活も変わってくる。都会に一極集中している方が不自然ですものね。

## 歌と嚙下（飲み込み）と運動と

この春、ひよんなことからプロのシンガーと出会い、割と親密な仲間なっています（多分皆さんも声を聴いたことがあると思います）。僕よりもずっと若い男性ですが、教わることも多く、本当に弟のようにも感じています。先日、彼から歌う時に使う体の動きや筋肉の使い方、そのトレーニングについて教わりました。これがまたハード。彼も言いますが、